

佐久間鼎 さくま なるみ 心理學・言語學・音聲學者、文學博士。明治二十一年九月七日千葉縣生乳、昭和四十五年一月五日歿（八八八一—一九七〇）。筆名サクマ・カナエ。大正二年東京帝國大學文科大學哲學科卒。ドイツに留學後、九州帝大法文學部初代心理學教授。その後駒澤大學教授、東洋大學教授・學長歴任。

譯著書、ウキリヤム、シエームス著 『宗教的經驗の種々』（佐藤繁彦共譯、大正二年五月）、『十五日星文館』、『國語のアクセント』（大正六年十一月）、『二十五日心理學研究會出版部「心理叢書」』、『リナムと人生』（大正九年十月十五日心理學研究會「近世心理學文庫」）、『國語アクセント講話』（大正十一年十一月十五日同文館）、『日本音聲學』（昭和四年四月）、『京文社』、『國語問題篇』（昭和十六年七月）、『二十日朝日新聞社「國語文化講座」』、『神秘的體驗の科學』（昭和二十二年八月十日光の書房）、『日本語學』（昭和二十六年九月一日朝日新聞社「朝日新講座」）等。